



平成29年第3回定例会が9月25～26日の2日間行われました。

平成28年度決算の認定議案については、審議未了の一般会計を除く特別会計等10会計を決算審査特別委員会へ付託しました。

他の補正予算、条例の改正等の議案の審議を行い、原案のとおり可決されました。

会 計 名		今 回 補 正 額	補 正 後 の 予 算 額
一 般 会 計 (第 4 号)		2 億 374 万 5 千 円	93 億 6362 万 円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第 2 号)	△ 29 万 4 千 円	16 億 7436 万 9 千 円
	介護保険事業 (第 3 号)	801 万 6 千 円	10 億 3368 万 9 千 円
	簡易水道事業 (第 4 号)	210 万 円	3 億 8302 万 円
	病院事業会計【収益的収支】(第1号)	△ 3974 万 3 千 円	12 億 7124 万 円
	病院事業会計【資本的収支】(第1号)	337 万 5 千 円	6034 万 8 千 円

補正の主な内容

◎一般会計補正予算(第4号)

ふるさと応援寄附金に対する返礼品、各基金への積立金、空家等除却補助金、認定こども園備品購入費、貝取瀬5号井温泉管布設工事、防災行政無線既設設備老朽化調査業務、せたな町学校運営協議会推進委員会補助金のほか、行政執行上当面必要とする経費などです。

◎国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

給与費の精査、負担額の確定に伴う後期高齢者支援金等の精査のほか、税等過誤納還付金の追加などです。

◎介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

給与費の精査や介護給付費負担金等返還金などです。

◎簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

普通旅費、施設の維持管理のための修繕料などです。

◎病院事業会計補正予算(第1号)

・収益的収入及び支出
給与費の精査や、経費では新せたな町立国保病院改革プラン支援業務、出張医師対策費などです。
・資本的収入及び支出
眼圧測定器、睡眠評価装置など医療機器の整備についてなどです。

条 例

◎名誉町民条例について

本町の振興発展、公共福祉の増進や、社会文化の興隆に多大な貢献をした者を顕彰し、その功績と栄誉を永く讃えるため、本条例を制定しました。

◎基金条例の一部を改正する条例について

上尾中央医科グループ会長 中村秀夫氏から「故郷への恩返しと医療職などの人材育成のために」として受けた1億円の寄附金について、中村会長の意向に沿って、医療職を志す方々への奨学資金貸付の

原資として新たに基金を創設するため、本条例の一部を改正しました。

同 意

◎教育委員会委員の任命について

任期満了に伴い、次の方を選任することに同意しました。
・瀬棚区本町

・氏名 桂田 富次(57歳)

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴い、次の方を選任することに同意しました。
・大成区都

・氏名 福島 司(70歳)

・北檜山区東丹羽

・氏名 井口 勝則(63歳)

・瀬棚区本町

・氏名 稲船 国晃(39歳)



報告

◎平成28年度健全化判断比率・公営企業資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、町監査委員の意見を付して報告がありました。

財政健全化指標は、実質公債費比率では8.4%（前年度比1ポイント減）、将来負担比率は数字がなくなりました。

意見書

◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

1 市町村が継続的に森林の整備などを着実に進められるよう、「森林環境税（仮称）」を早期に創設すること。税制度の創設に当たっては、都道府県の積極的なかわりのもと、森林の整備はもとより木材の利用を含め幅広く活用できる仕組みとすること。

2 森林の多面的機能を持続

的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

3 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

※意見書は、要約して掲載しています。
※内閣総理大臣のほか、関係する大臣等に提出しました。

発議

◎政務活動費の交付に関する条例の一部改正について

今まで概算払いであった政務活動費を本年4月から実績払いとしたことに伴い、条文の整合性を図るため一部を改正しました。

提出議員	真柄 克紀	提出議員	細川 伸男
賛成議員	石原 広務	賛成議員	榊田 道廣
同	細川 伸男	同	本多 浩
同	神田 和浩	同	真柄 克紀
同	熊野 主税	同	平澤 等
		同	大野 一男



冬の交通安全、家族みんなで約束！

交通事故が多発する冬を安全に過ごすため、交通安全について家族みんなでしっかり確認し、危険を見逃さず事故防止に努めましょう。

